

令和5年度 立川市立第六小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎考える子 ○思いやりのある子 ○元気な子
---------	-----------------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を身に付け、よく考え、自分からすすんで活動する子（考える子） ○健全な人権感覚をもち、温かい心で支え合う子（思いやりのある子） ○自他の生命と安全に関心をもち、心身ともに健康で明るい子（元気な子） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「立川市民科」に取り組み、教科横断的な学習を図る。 ・校内研「よりよい道徳の授業作り」の実践の中で、子ども思考を高める発問の工夫に取り組む。 ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した「立川スタンダード20」「六小スタンダード」に基づいた授業改善を図る。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○考えたことや伝えたいことなどを的確に話す力や相手の意図をつかみながら聞く力、計画的に話し合う力。 ○筋道の通った文章となるように、粘り強く文章全体の構成を考える力。 ○文の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解する力。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力。 ○相手や場面に応じて適切に敬語を使える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや伝えたいことを話すために、自分の立場や結論を明確になるよう、話の内容を構成する時間を確保し、話の構成を考えさせる指導をする。 ・自分の考えを書かせるために、文章全体の構成を工夫したり、理由や事例を明確にしたりしながら書く指導の改善を図る。 ・1時間単位でねらいや活動を絞って指導することで、読みの観点を焦点化させる。 ・読みの観点（作品設定、視点、表現技法、主題など）を系統的、段階的に指導する。 ・写真、挿絵、センテンスカード、動作化、劇化、図解、ICT教材など視覚的な手がかりを効果的に活用し、学習課題に沿った自分の考えをまとめることができるようにする。 ・生活場面での言葉使いを取り上げながら宿題等で継続的に学習し、活用できるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○理解する内容を系統的・段階的に習得する力。 ○教科書及び地図帳や地球儀、年表、資料集、ICT教材等を適切に選び、読み取り、まとめる技能。 ○文章や図表を使って考えを説明したり、考えたことや根拠や理由を明確にして議論したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシック・ドリル等を活用し、学習の定着を図る。 ・身近な題材を教材化したり、教師が使用する資料を精選したりし、資料をしっかりと読み取る活動を取り入れる。 ・資料から読み取るだけでなく、時代背景を考えさせたり、複数の資料を関連付けて考えさせたりする活動に取り組みさせる。 ・調べたことを基に、分かったことや気付いたことをグループで交流する。グループで話し合った内容をホワイトボード等にまとめ、まとめた内容を全体の場で説明させ、共有する活動を取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の基礎・基本的な知識・技能。 ○文章から正しい演算決定ができる力。 ○問題を解決するために、場面に応じて必要な数量やその関係を捉え、図や式などに表したり、答えを求めたりすることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習や東京ベーシック・ドリル等を繰り返し活用し、学習の定着を図る。 ・毎週金曜日の朝学習で、東京ベーシック・ドリルに取り組みさせる。また、学期に一度、確認テストを行い、学習の状況を把握する。 ・線分図、テープ図、数直線図、4マス関係図などを用いて数量関係を明瞭化させ、問題を解決する力を高めさせる。 ・自分の言葉で文や図、表、グラフなどを活用して表現し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする時間を十分に確保する。また、ホワイトボードやタブレットを活用する。 ・データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、必要な情報を読み取る力を日常の具体的な場面に対応させながら理解させる。 ・図や式などを用いて、基準量と比較量の関係を表す力を身に付けさせる。

理科	<p>○観察、実験などを行い、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、観察、実験の過程やそこから得られた結果を適切に記録し、表現する力。</p> <p>○観察、実験などを行い、問題を解決する力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCを活用し、実験器具の扱い方などの習熟を図る。 ・実験に関わる学習については、「課題→予想→実験・観察→結果→考察→まとめ」を一連の学習過程とした指導を行う。 ・問題解決の過程において、プログラミング的思考の育成との関連を図る。 ・実験の学習場面で、自然の事物・現象や他者の考察した内容から、自分の考えを広げたり、深めさせたりするなどの活動を取り入れることで、他者との違いや、共通点を捉える力を身に付けさせる。
生活	<p>○社会及び自然に直接関って、自分の考えを深める力。</p> <p>○自分の生活について考え、表現する力。</p> <p>○自分を取り巻く環境を意識し、興味をもったことを調べたり、新しい事に意欲的に取り組んだりする力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる意見や考えを知り、合意形成していく過程も学習と捉え、体験した事柄を伝え合うなど、交流する活動を意図的に設ける。 ・目的に合った表現形態（絵、新聞、ポスター、劇等）を児童自らが考え、工夫できるように、それぞれの学習の観点を明確にした指導を行う。 ・活動に見通しをもたせ、意欲や関心を継続できるように、他学年との交流活動や体験的な学習を取り入れた指導を行う。
音楽	<p>○音色、リズム、旋律などと曲想との関わりを理解し、音を合わせて演奏したり、声の響きが重なる面白さを生かして歌唱したりする力。</p> <p>○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴く力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技能を身に付けるためのポイントを明確に示し、スモールステップで取り組むことができるようにする。 ・歌詞の内容や作曲家・作詞家について理解し、思いや意図をもって表現ができるよう、児童に考えさせる発問をする。 ・鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見いだすことができるように、ワークシートを工夫したり、様々なジャンルの音楽・楽器に触れさせたりする。
図画工作	<p>○材料や用具の特徴を理解し、つくりたいものに合わせて材料や用具を選ぶなど、工夫しながらつくる力。</p> <p>○自分のイメージを色や形で表現することができ、どのようなものをつくりたいかを想像する。</p> <p>○自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取る力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて使う材料や用具を用意し、新しい材料や用具と出会うときには、試したり、慣れたりする時間を十分に確保する。 ・一人一人の児童のアイデアを実現させるため、様々な用具や材料の準備をする。 ・友達と作品を見合ったり、アドバイスしたりする時間を設ける。また、観賞用のワークシートの項目等を工夫する。
家庭	<p>○調理や製作に関する基礎的・基本的な知識や技能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料や用具を使いやすいように教室に配置する。また、用具の名前や使い方、製作物の作り方が分かるように、拡大したイラストや写真、段階見本などを掲示する。 ・技能のポイントを明確に示し、スモールステップで取り組むことができるようにする。また、タブレットPCを活用し、細かい手元の動きが見えるようにする。
体育	<p>○体力向上を図るとともに、走力や持久力、握力、跳躍力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時のウォーミングアップに、鬼ごっこ・しっぽとりなど、走る能力を高める運動や鉄棒・雲梯といった握る活動を伴う運動を取り入れる。 ・縄跳び、持久走など、長時間粘り強く続けていく運動を取り入れる。全校で行う「なわとび週間」「持久走週間」を活用し、跳躍力を付ける指導を行う。
外国語	<p>○外国語に興味をもち、聞くこと・話すことの言語活動を通してコミュニケーションを図る素地となる力。</p> <p>○学習したことを使って、自信をもって表現する力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを視覚化し、見通しをもたせる。「グリーティング」「ウォームアップ」→「アクティビティ」→「レビュー」「グリーティング」という手順で授業を展開し、実際のコミュニケーションにおいて活用できるようにする。 ・身近な題材を教材化したり、タブレットPCを活用したりするなど、児童が意欲的に活動し、視覚的に理解しやすくする。 ・自分の気持ちや、考えを伝え合う言語活動を毎時間設けることで、児童が主体的に取り組めるようにする。 ・毎時間のめあてをはっきりさせ、学習を振り返ることで、その時間にどんな力を身に付けたかを一人一人が意識し、単元終末の言語活動に意欲的に取り組めるようにする。